

## 子宮頸部多発嚢胞のご相談に際して必要なもの

### 【主治医にご依頼していただくもの】

- セカンドオピニオン外来診療情報提供書
- 「MRI 検査画像」と「報告書」
- 「病理検査（細胞診と組織診）の標本（プレパラート）」と「報告書」

組織診の標本につきましては、HE 染色標本を 1 セットと施行した特殊染色・免疫染色標本とともに、原則として以下を参考に未染色標本も一緒に送付して下さい。

- ・生検検体の場合：未染色切片 5 枚
  - ・手術検体(子宮全摘術や円錐切除術)の場合：代表切片の未染色切片 10 枚
- ※代表切片の選択は紹介元医師の判断に一任します。病理診断上重要な部分の送付をお願いします。

※お送りいただいた未染色標本のうち、未染色・未使用の標本は返却できますが、使用した標本は返却いたしません。

※当院の病理診断医師の要望により追加の未染色標本の送付をお願いする場合があります。

### 【郵送先】

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1-1

信州大学医学部附属病院患者サポートセンター内 セカンドオピニオン外来受付担当

~~~~~  
セカンドオピニオンでお送りいただく資料とともに、患者さんの子宮頸管粘液を採取してお送りいただくと、当院で HIK1083 ラテックス凝集反応

(<https://www.kanto.co.jp/products/rinsyo/meneki/hik1083.html>) を用いて胃型粘液の有無を判定することができます。ぜひ、ご検討ください。

採取および送付方法ですが、試験管付きの検体採取用綿棒に頸管内（腔内ではなく、できるだけ頸管内にある粘液を採取してください）の粘液をしみこませるように採取してください。腔内にある分泌物が多い場合には除去してから、できるだけ頸管内の粘液を採取してください。血液は混じらない方がよいです。その後、検体付き綿棒を試験管内に収納して密閉し、患者名などを記載の上、常温（胃型ムチンは常温で非常に安定しています）で郵送してください。なお、細菌培養用の培地付きのものは用いないようにお願いします。



## 子宮頸部多発嚢胞のご相談に際して必要なもの

### 【患者さんにご準備いただくもの】

#### ●オンラインセカンドオピニオンの場合

- 信州大学医学部附属病院セカンドオピニオン外来 申込書兼同意書
- 信州大学医学部附属病院オンラインセカンドオピニオン外来 利用規約同意書
- 当日相談を受ける方の身分証明書（顔写真付き）のコピー

#### ●対面でのセカンドオピニオンの場合

- 信州大学医学部附属病院セカンドオピニオン外来 申込書兼同意書

※相談者をご本人以外の場合には相談委託同意書も必要です。ただし患者さんが未成年の場合は患者さんとの続柄を示す書類（たとえば健康保険証）で構いません。

### 【郵送先】

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1-1

信州大学医学部附属病院患者サポートセンター内 セカンドオピニオン外来受付担当